



平成25年

# 議会報告会

## 要約版

古川東大崎地区公民館

大崎市議会基本条例（平成24年9月13日可決）に基づき、「議会報告会」を市内31小学校区を対象として、2年間で一巡するよう開催しています。

今回は、前年に引き続き2回目の開催となる「議会報告会」を平成25年7月24日から27日まで全議員34人を4班体制に編成し、市内16会場で開催しました。

多くの市民の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

このたび、市議会だより別冊第2号として、要約版にまとめましたのでお届けします。

各会場で皆様から出されたご質問やご要望などは、全て取りまとめた上で関係する委員会所管ごとに精査し、今後の検討課題や政策提案に生かしています。  
このうち、今号では6委員会所管分の回答から、一部要約し掲載します。

### 議会運営委員会 情報化対策特別委員会 所管分

**問** 議会の仕事として「調査・監視」とありますが、年間どのくらいの調査や監視を行っていますか。

**答** 議決権と並んで議会の重要な権限として、監視的権限があります。

定例会では、おおむね20人を超える議員が毎回質疑をしており、また、各委員会では執行部に対し積極的に説明を求め現地確認をするなど、平成24年度は延べ63件の所管事務調査も随時実施しています。

これらの活動により、市民病院本院移転後の跡地利用にかかる議案においても、用地取得費全額の10億260万円を減

額し執行部提案を修正するなど、調査・監視的役割を果たすよう、日頃より議会活動を活発に行っています。

**問** 議会基本条例で、特徴的な部分はどこでしょうか。

**答** また、住民意見はどう反映する仕組みとなっておりますか。特に強調すべき部分は、5つの活動原則です。

①公正性・透明性の確保と開かれた議会を目指すこと、②市民参加の機会の拡充に努めること、③政策立案や政策提言等の強化に努めること、④市民本位の立場から監視や評価をすること、⑤議会運営をわかりやすい視点や方法等で行うことと定め、この原則に基づき活動していきます。  
また、議員間での自由討議の拡大や、議会報告会の実施などを定めたことで能動的な議会に変わりつつあります。

**問** 昨年の議会報告会でも要望しましたが、地元出身の議員がない場合があるので、是非改善してください。

**答** 班編成では、市政全般にわたる話題や課題に対応できるように、専門性とバランスを重視した構成にしています。

しかしながら、地域特性を考慮することも大切とのこと意見も多くいただいたことから、次回からは地元出身の議員も出席するように配慮します。

**問** 情報化対策特別委員会は、通年での開催回数が多いですが、活動状況やホームページなどの取り組みはどうですか。

**答** 議会だよりの編集などでは、毎号の誌面づくりのために、数日長時間にわたる校正作業を行っています。市議会ホームページでは、今後も迅速な情報提供に努めながら、リニューアルも考えています。

### 総務常任委員会 所管分

**問** 側溝の土砂上げなどが震災後実施されていませんが、洪水時の冠水や放射能の影響が心配されています。その見通しはどうなんでしょうか。

**答** 基準値の8千ベクレルに近い数値が出たため、慎重に対応しています。

なお、民間処理業者は1千500ベクレルを超えるものは受け入れず、また汚泥などの集積所が確保できない限り手を



鹿島台総合支所

つけられない状況ですが、今後の対応を考慮しています。

**問** 地区公民館の指定管理者制度移行に伴い、地域づくり委員会の事務処理などの負担や、委員長の職責も高まっています。

**答** 地区公民館職員が地域づくり委員長などと兼務することは望ましくないようですが、無給であることも疑問であり、さらに指定管理終了時には剰余金を返還しなければならぬとも聞きますが。

**答** 地区公民館の運営には、地区ごとの独自性や努力が必要であり、地域づくり委員長などの報酬についても、会費負担や指定管理料の範囲であ

れば支給可能です。また、剰余金については、特段の事情がない限り返還する義務はありません。

**問** 選挙の投票所を、今後集約する考えがあるようですが、投票所が遠くなると棄権する人も多くなり、投票率の低下も懸念されます。

**答** 現在106カ所ある投票所を50〜60カ所に集約し、選挙人の人口規模を2〜3千人程度にする計画ですが、現段階ではまだ市民に示すまでには至っておりません。

なお、縮小によって投票行動に支障が出ないよう配慮し、投票時間の繰り上げについては、混乱のないように市民周知の徹底を要望していきます。

**問** ①学校統廃合の経過は。②統廃合後は、コミュニティ崩壊の危険性や限界集落をつくる心配がありますか。③残された学校の管理や跡地を、地区に任されても困ります。人口増につながるような

拠点となる施設を設置してほしいのですが。④統廃合は子どもの数ではなく、市全体で同じ教育環境を提供すべきでは。

**答** ①教育委員会で、平成24年3月に現状課題や今後の見通しをまとめ、学校教育環境整備指針を策定しました。②学校統廃合は、地域住民の了解なしには進めませんが、一定の児童数がいないと集団教育が出来ないのも事実です。コミュニティなど心配な点は事業充実を図るよう、今後

も議論していきます。③廃校後の空き施設の活用は、地域住民のご意見を聞き、しっかりと議論していきます。④現在、複式学級導入校は7校ありますが、子ども達の教育環境にとっては仲間が多いことも必要です。

いずれにしても地域の合意が必要となります。

『大崎市学校教育環境整備指針』

将来を見据え教育環境を充実するため、中長期的な方向性と基本方針を示したものの。地域やPTA代表などで構成された委員会や懇談会、アンケートなどを通じ市民意見も多く反映されている。

**問** 保育所の待機児童問題が、一向になくなりません。子育てしやすいまちというキャッチフレーズと違うのではありませんか。

### 民生常任委員会 所管分



上野目地区公民館

定員拡大などを働きかけます。

**問** 高齢の方が介護の世話にならないように、健康保持や増進の施策を一層進めるべきです。例えば、古川地域にパークゴルフ場をつくってはどうか。

**答** 超高齢化社会の中で、健康寿命を延ばし、生活の質を高めていくための施策はこれまで以上に重要です。ご意見をいただいたパークゴルフ場設置の提案など、本委員会でもさまざまな取り組みについて調査し、スポーツを通じた健康管理や介護予防の充実を働きかけていきます。

**問** 新市民病院本院の開院時期や新患の受付はどうなりますか。

**答** 建設資材の供給不足や工事現場発生残土からのヒ素検出などの問題があり、これらへの対応で完成が遅れていましたが、平成26年7月に開院する予定となっています。また、本院の受診には原則として紹介状が必要です。議会としては、情報発信を強めさせ質の高い医療サービスが提供できるよう努力していきます。

**問** 大崎市学校教育環境整備指針

## 産業常任委員会

## 所管分

**問** 人・農地プラン推進事業について教えてください。

**答** 集落や地域での話し合いから地域農業の担い手を明確化し、農地集積を図り、人と農地の問題を解決できるよう「人・農地プラン」を策定することで持続可能な力強い農業構造の実現を図る事業です。新規就農時の悩みや不安である「所得の確保」「技術の習得」などに対する支援や、農地集積のための総合的な対策も用意されています。

**問** 合併して8年たちますが、



古川宮沢地区公民館

合併の実感がありません。市全体で盛り上がる祭りが必要では。

**答** 市内各地域には伝統の地域の祭りがあり、合併後も盛大に開催されています。他地域からの参加者や観客も増えており、今後さらなる活性化を図ります。

また、新たな祭りとしては、「菜の花フェスティバル」が挙げられます。震災2次避難者との絆を継続し深めることや、菜の花プロジェクトを普及することを目的に、地域の垣根を越えて多くの市民や企業も参加し開催されました。

**問** 再生可能エネルギー創出事業の内容はどうですか。

**答** 市内に広く賦存する太陽光・太陽熱・風力・水力・地熱・温泉熱・バイオマスなどの再生可能なエネルギーの活用を推進する事業です。併せて、関連産業の育成と新産業の創出を図り、二酸化炭素の排出量削減、森林（里山）の適正管理、耕作放棄地の解消など、自然環境の保全を図るものです。

**問** 市長は交流人口や滞在型観光と言っていますが、他の

自治体には多くいる、グリーンツーリズムなどを専門的に担当する職員がいません。本市では夢妄想を描いているのですか。

**答** 専門的な職員配置については、プロパー制を導入するよう職員異動に留意する旨を議会でも提案しています。

**問** 是非、畜産や林業の振興を図ってほしいのですが。

**答** 畜産関係については重点施策として取り組んでいます。また、林業に関しては、県単位での取り組みが必要ですが、宮城県は遅れています。加工や販売などの出口政策を構築するよう働きかけます。

## 建設常任委員会

## 所管分

**問** 住宅リフォーム助成事業は、なぜ今年度で終了となるのですか。

**答** 地域の経済活性化対策事業として、平成23年度から3年間の予定で事業を行ってききましたが、震災で被害に遭われた方の住宅復旧支援策として多くの市民に利用いただきました。



大貫地区公民館

また、補助実績はこれまで約2億円であり、当初の目的であった経済対策が達成できたとこともあり、今年度で終了となります。

なお、今後については災害救助法が適用されない場合の本市独自の支援策などについて、議会としても議論していきます。

**問** 震災時に水がなく大変でしたが、井戸水があり助かりました。

**答** この経験から以前、井戸水の水質検査の実施をお願いしましたが断られました。緊急時のライフラインでもあり、是非、検査を実施してもらえ

ませんか。

**答** 井戸水の水質検査は保健所管轄であり、水道部では飲めるかどうかの水質検査や判断は出来ません。

本市では給水車での対応を充実するため、3年で10力所の給水場整備と併せて、地域連絡管整備も予定しています。

**問** 市道や生活道の傷みが激しい状況です。要望にすぐに対応してもらえますか。

**答** 道路の補修がされていない箇所は多く見受けられます。道路の補修や整備は議会でも議論していますが、今後も地域の生活道路としての市道補修の要望に応えられるよう求めていきます。

**問** 県道坂本古川線の未改修部分は、整備の見通しがなく大変危険なので、議会でも対処してもらえますか。

また、冬期間の地吹雪対策として、地域でも防雪ネットを設置していますが、市でも対応してもらえますか。  
**答** 県道の改修及び防雪柵の設置については、早期実現に向け市民の声を県にも働きかけていきます。

# 平成25年議会報告会 参加者アンケート結果（一部抜粋）

## ●参加者の年代構成

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
10代	0	0.0	60代	69	45.7
20代	1	0.6	70代	46	30.5
30代	3	2.0	80代以上	3	2.0
40代	3	2.0	無 回 答	0	0.0
50代	26	17.2	合 計	151	100.0

## ●議会報告会は何で知りましたか？（複数回答）

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
広報おおさき	67	38.7	そ の 他	18	10.4
チラシ	79	45.7	無 回 答	3	1.7
市議会ホームページ	6	3.5	合 計	173	100.0

## ●議会報告会は市内小学校区（31カ所）を単位として2年で一巡することは？

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
適 当 で あ る	85	55.6	旧 市 町 単 位 で 開 催 す れ ば よ い	11	7.2
全 小 学 校 区 で 毎 年 開 催 す べ き	36	23.5	そ の 他	4	2.6
年 2 回 以 上 開 催 す べ き	13	8.5	無 回 答	4	2.6
			合 計	153	100.0

## ●議会報告会の内容はどうでしたか？

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
わかりやすかった	73	48.4	無 回 答	28	18.5
どちらともいえない	44	29.1			
わかりにくかった	6	4.0	合 計	151	100.0

## ●今後も議会報告会に参加したいと思いますか？

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
思 っ て い ます	126	83.4	無 回 答	5	3.3
思 っ て い ませ ン	1	0.7			
わ かり ませ ン	19	12.6	合 計	151	100.0

皆様からのアンケート結果などを踏まえ、幅広い年代の方に議会報告会にご参加いただけるよう、周知方法や内容などの見直しを図ってまいります。

皆様の貴重なご意見・ご提言を  
議会として政策提言に反映できるよう努めてまいります！

### 〈平成25年議会報告会開催実績〉

《7月24日》大貫地区公民館17人、上野目地区公民館7人、古川東大崎地区公民館45人、松山下伊場野地区公民館7人、《7月25日》田尻地区公民館13人、真山地区公民館9人、古川高倉地区公民館7人、古川志田地区公民館7人、《7月26日》川渡地区公民館3人、鹿島台総合支所39人、古川富永地区公民館8人、大崎生涯学習センター4人、《7月27日》鳴子公民館中山地区分館3人、三本木総合支所4人、古川宮沢地区公民館10人、古川西部コミュニティセンター14人 計197人

次回の開催は **平成26年7月上旬** を予定しております！

- 詳細は広報いたしますので、市民皆様のご参加をお待ちしております。
- 年4回発行の「市議会だより」も、是非ご覧ください！

【発行責任者】議会運営委員会・情報化対策特別委員会

【問い合わせ先】大崎市議会事務局 ☎52-5838 FAX52-5860